

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第 1 年度分

1 事業所の概要

事 業 者 の 名 称	セイコーインスツル株式会社		
事 業 所 の 名 称	仙台事業所		
事 業 所 の 所 在 地	宮城県仙台市青葉区上愛子字松原45-1		
主 た る 事 業	電子部品・デバイス・電子回路製造業		
事業者の該当要件	○	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温 室 効 果 ガ ス 排 出 抑 制 の た め の 基 本 方 針	当社では下記「環境・品質統合方針」を定め、温室効果ガスの削減に努めていくことを掲げております。		
	自然豊かな宮城の郷・愛子を拠点に、小型エネルギーデバイスとその応用製品の生産・販売活動を通し、お客様の満足を実現するとともに地球環境との調和を目指します。		
	1、法令、法規制ならびに、お客様の規定要求事項を遵守します。		
	2、環境汚染の防止、温室効果ガスの削減、生物多様性保全に努めます。		
	3、目的・目標を設定し、実施し、定期的にレビューし、システム及びパフォーマンスについて継続的な改善を行います。		
	4、グリーン調達、グリーン商品開発及びグリーンライフ活動を通し、社会に貢献します。		
	5、製品含有化学物質は規定要求を遵守するとともに、削減・代替を目指します。		
	6、教育・啓蒙活動を活発に行い、全員が自覚して行動する事を、目指します。		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの排出状況及び削減目標・非化石エネルギーの使用割合目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	7,530 t-CO ₂	基準原単位	1.216
	目標年度	2025 年度	目標排出量	7,305 t-CO ₂	目標原単位	1.1798
			削減率	2.99 %	削減率	2.97 %
		非化石エネルギーの使用目標割合	非化石電気	7.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2023 年度	排出量	7,432 t-CO ₂	排出原単位	1.191
			削減率	1.30 %	削減率	2.05 %
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	5.59 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由	排出量・原単位削減は2022年3月からオンサイト型PPA(太陽光発電)導入、照明LED化(STEP3)により削減となった。				
	第2年度	2024 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
	排出量等の増減理由					
	第3年度	2025 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
	排出量等の増減理由					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	78 %	目標年度	85 %
	第1年度	78 %	実施状況の説明等	LED照明器具の導入が事業所内80%以上完了した。 その際一部照明にて点灯消灯を人感センサーへ変更したところあり。
	第2年度	%	実施状況の説明等	
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選択対策の実施状況	項目	実施状況
	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）	実施済
	デマンド管理	実施済
	窓の断熱性向上	実施済
	再生可能エネルギーの導入	実施済
	生産性管理	実施済
	エネルギー使用量の見える化（分計による課題発見）	実施済
	ボイラーの運転効率管理	実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理	実施済
	蒸気トラップの管理	実施済
	外気冷房	実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理	実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理	実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御	一部実施済
	圧縮空気系統の保全管理	実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理	未実施
	ファン、ブロワ、給気系統の保全管理	未実施

その他の対策の 実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	環境マネジメントシステムとして「ISO14001：2015」を適用として活動を行っている。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	事業系一般廃棄物の1%削減する為、不要物分別教育を実施している。	実施済
	グリーン調達の実施	直材・梱包材における禁止化学物質の非含有管理、及び、地球環境に配慮した物品の購入促進を目的とした活動を行っている。	実施済